

東雲

真理の道
誠の道
平和の道



平戸市立度島小中学校
学校だより NO.9
令和8年9月7日
文責:校長 高田 敦

2学期がはじまりました

「9月1日は、学校に来たらそれだけで100点」と言っていましたが、加えて元気に挨拶したり、始業式ではしっかりと話を聞いたり満点のスタートを切ることができました。代表挨拶の小学2年〇〇 〇〇さんが「姿勢を正しくして勉強をする。かけ算を習うことが楽しみ。元気いっぱいクラスで頑張る！」中学3年 〇〇 〇〇さんが「受験が近づいてくる。オープンスクールでは多くのことを感じる事ができた。高校に入って勉強も部活も負けないように今から毎日努力を続けたい。」と話しました。2学期は77日間あります。どこまで成長するか楽しみです。



職員も保育体験！

夏季休業を活用して、中学3年生に続き、職員も保育体験に行きました。へき地保育所の先生方には大変お世話になりました。体験の目的は、子供の発達や学びの連続性を感じる事。6歳までにどのように学んでいるか、義務教育の始まりをスムーズに迎え、学びの芽を大切にしながら、終わりに主体性をもった子供に育てていきたいと考えています。



今後の学校スケジュール

- 9月11日(金) 小学校 授業参観・懇談会
夏休みの作品も力作そろいです！
- 9月19日(土) 度島塾 防災運動会
今年で2回目！中学生ががんばります！
- 9月25日(金) サイエンスカーラボ(小5～中2)
長崎大学から直接指導を受けます！
- 9月30日(木) 小3・4年生社会科見学

暑い中、ありがとうございました。

8月27日の早朝7時より、PTA活動「除草作業」ありがとうございました。前日が雨、当日曇りという絶好の草刈り日和！と思っていましたが、なんのなんの、汗びっしょりの作業となりました。〇会長をはじめ、会員の皆様、大変お疲れ様でした。水分塩分補給の準備も大変ありがたかったです。おかげで、気持ちよく2学期を迎えられました。



校長室より ～当たり前前ありがたさ～

夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。運動場で遊ぶ姿、図書委員会の紙芝居の練習、お昼の放送に向けて献立を読む声。そんな何気ない日常は、「やっぱりいいなあ」と感じます。熊本地震や関東や北陸での豪雨、ネパールでの氷河溶解による土石流など、自然災害の報道に触れるたび、「当たり前前ではない」と実感します。

学校では給食も再開しました。9月から小学校は全員で一緒に食べる形態をとっております。栄養バランスのとれた給食は、子供の成長を支える大切なものです。当たり前前思える毎日の給食にも、多くの人の支えがあります。学校では、その意義や価値を伝えながら、感謝の気持ちを育てていきたいと思ひます。当たり前前を見つめ直すことは、豊かな心を育てる第一歩です。

